



図書だより

令和6年12月
網干高等学校図書館

開館曜日・時間

昼休み：(月・火・水・木・金) 12:45~13:10 放課後：(火・水・金) 15:45~16:30

* (月・木)は7限のため閉まっています。



期末考査がおわり、いよいよ2024年もおわりに近づいてきました。12月の午前中授業の間は、1限目、2限目、3時間目の休み時間に図書室を開けています！

短い時間ですが、冬休みに何か読んでみようという人、借りに来てくださいね！



『しゃばけ』

江戸の店のひ弱な若旦那一太郎を百鬼夜行達はいつも見守っている。優しい若旦那と妖怪たちが繰り広げるお江戸ミステリーです。2025年にはテレビアニメになるそうです。

アニメ化された小説



森見登美彦さんの小説は、なぜかよくアニメ化されます。荒唐無稽な設定や、奇想天外なシチュエーションがアニメに向いているのかもしれませんが。文章で読むとまた違う楽しさがあります！

『有頂天家族』

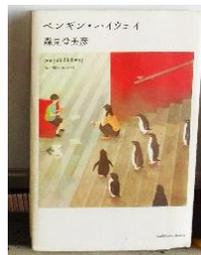
主人公は京都の神社の森にすむ狸の一家。そこに天狗の一家も登場しあれよあれよの大活劇！

『夜は短かし、歩けよ乙女』

先輩が片思いをしている黒髪の乙女。そこに現れる奇妙な面々。大学生たちが京都の町で繰り広げるびっくり仰天の物語。片思いはどうなる？

『ペンギン・ハイウェイ』

小学4年生のぼくが住む町に突然ペンギンたちが現れた。なぜか近所の歯医者さんのお姉さんがその謎にかかわっているらしい…！



『ハウルの動く城』

もちろん、あの宮崎駿監督の映画「ハウルの動く城」の原作です。魔法のせいで90歳の老婆となったソフィーと人を愛せない魔法使いハウルの物語です。

『風が強く吹いている』

ほとんど未経験の学生たちが箱根駅伝出場を目指す。箱根駅伝を走りたい…ただそれだけで集まった仲間たち。自分の限界に挑戦し、箱根を目指して駆け抜けます。お正月の箱根駅伝をめぐる小説です。アニメも本もおすすめです。



○ 新刊紹介 ○

『世界一わかりやすい 筋肉のつながり図鑑』

筋肉のつながりがわかると怪我をしにくくなるそうです。姿勢も良くなり、ストレッチや筋トレの効果も上がるとか…！イラストでわかりやすい筋肉のつながりを理解し、体のしくみを知り、部活や日常生活で活かしてみましよう。



『足が速くなる解剖図鑑』

明日の体育大会にも間に合う、試してすぐに効果が出る…そんな体操やメソッドが盛りだくさん。正しい体の使い方を学んで、速く走れるようになると体育大会でも大活躍かも…。(体験第1号になって報告してください！！)



『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』(福德 秀介)

ジャルジャル福德秀介待望の小説デビュー作です。大学2年生の「僕」は、大学生になったものの、憧れていたものとはほど遠い、冴えない毎日。そんなとき、凜とした女の子と出会い、ひかれていきます。繊細な「僕」の恋は実るのでしょうか？2025年には、映画になるそうです。



『わたしたちは、海』(カツセ マサヒコ)

クラスの子がタイムカプセルを埋めたらしい…その公園に行ってみることにした男子たち、浜辺に打ち上げられた鯨を見に行く高校の同級生の二人、幼なじみの保育士と先生の海辺の一日…海辺の町で起こった小さな出来事。様々な思いが波のように寄せては返す7つの物語。



『データリテラシー入門 日本の課題を読み解くスキル』

社会の様々な課題を解決していくためにはエビデンスに基づいて論理的に考えることが求められます。集めた情報をいかに読み解くチカラは大学に行っても、就職をしても必ず必要になります。どうやって読み解き、自分の知りたい事にたどり着けるか…そのヒントが詰まっています。



○ 新刊紹介 ○

『ぼくが生きてる、ふたつの世界』

耳が聞こえない親の元に生まれた「ぼく」。小さな町で、家族仲良く健やかに育ってきたけれど、ある日、自分がまわりから「障がい者の子」と見られていることに気が付きます。聴こえる世界と聴こえない世界、二つの世界の間で葛藤し、反発し、そして大切なことに気が付く。その苦しかった過程を綴ったドキュメンタリーです。吉沢亮さん主演で映画にもなりました。



『あん』

ある日、町の小さなどら焼き屋さんに、ここで仕事をしたいと徳江さんという女の子の人がやってきます。彼女の作る「あんこ」の美味しさが評判になりお店は繁盛します。しかし、徳江さんには人には言っていない過去がありました。今こそ、読んで欲しい1冊です。たくさんの国の言葉に翻訳されて、世界中で読まれています。

● 野田先生に冬休みにおすすめの本を聞きました ●

『君の臍臓をたべたい』 (住野よる・著)

人は人によって変わることを教えてくれる物語。

主人公が1冊の日記を拾ったことから物語は始まる。その日記は、同級生が書いたものなのだが、彼女には秘密があつて…。

映像化もされているので、手に取りやすい1冊。最後に明かされる主人公の名前も物語がつながっていく。

まだ読んでいない人はぜひ、読んでみてください！



◆ 図書室より…冬休みにおすすめ ◆

『私を離さないで』 (カズオ イシグロ)

読み始めてもなかなか状況が分からない。なんとなく、うすうすわかってくる…でも、まさか？と読み進める…そんな本です。主人公たちが子どもから大人になるにつれ、わかってくる本の中の事実が衝撃的で、主な登場人物の3人の関係があまりに切ない物語。



あたらしい本

わたしたちは、海	カツセ マサヒコ
あん	ドリアン 助川
今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は	福德 秀介
世界一わかりやすい 筋肉のつながり図鑑	きまた りょう
足が速くなる解剖図鑑	高林 孝光
データリテラシー入門	友原 章典
大学生 学びのハンドブック [6訂版] (単行本)	世界思想社編集部
ぼくが生きてる、ふたつの世界	五十嵐 大

おしらせ

進路が決まった3年生にぜひ読んで欲しい本を並べています。大学生になった時、レポートの書き方に困らないように…。就職をして報告書を書かなければならない時、迷わないように…。**入学前の課題**が出ている人、本の相談もしてくださいね。

いい文章にもふれて欲しいと思い選んだ本も一緒に並べました。今どきの面白さとは違うけれど、心に響く言葉を自分の中に持っておくと、いつか心の支えになるかもしれません。

冬休みの貸し出しについて

冬休み前に貸し出した本は、ゆっくり読めるよう返却日は冬休み明けに設定しています。冊数もいつもより多い5冊 借りることができます。図書室は、休み時間にかけています。年末年始、なんの予定もないな～という人、気になる本をじっくり読んでみましょう。